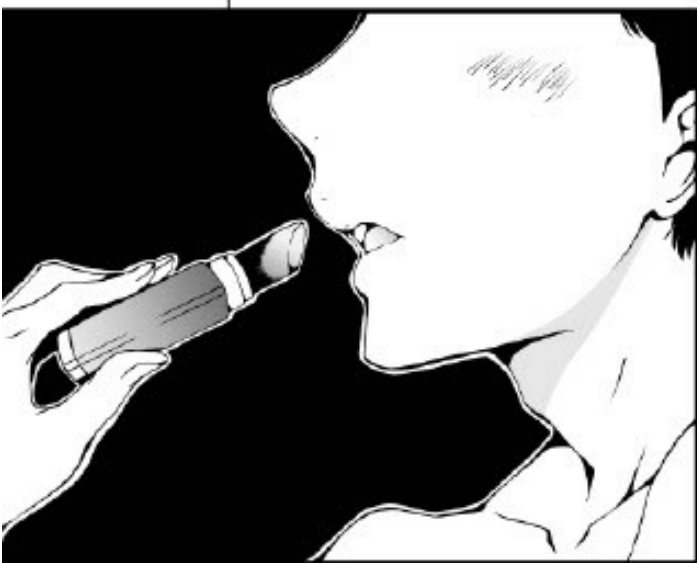






よしっ
変身完了！





クラスでは
全く馴染めず

ぼっちの俺の
唯一の楽しみが
この女装…

誰にも相手に
されないような
男の時とは違い

女装をすると
性的な目で俺を見ていて
それが快感になって
しまった…



は…

は…



いたあ…

なんなのよ
アンタあ…











胸パッド
なんか入れて

あっ
女を装ったって
キモい男にしか
見えねえてのw



…でも
アタシとアンタ
ちよー気が合いそう♡



アンタ
貰ってくれない…?

アタシも
いらぬもの
あるから…



今日の事は
黙ってて
あげるからさ…



このおマ○コが
あればかわいい
パンツも履けるしっ

理想通りの
体になれるん
じゃない…？

だったらさ…
交換しようよ…

そのいらないもの…
アタシが
貰ってあげるから…

アタシの
いらないもの
あんたに
あげる…♡



これはね…♡
アタシのDNAが
入った特別な
クスリ…♡

製薬会社に勤める
「パパ」が
作ってくれたの♡

このクスリを
注入して

更にあんたの
DNAを
吸い取る…

くっ
クスリ…？
やだ…
やめ…

おねが…い…
止め…て…

はっ









子宮が…

あ…あたし…

あたし…♡

すんごい
反応してる…♡



キタキタあ♡
やっぱあ…

ちよう
ゾクゾクするう♡



ねえ…
磯島あ…
お願い…
見ててよ…♡

アタシが
イクところ♡



ああ…

あ…



……
何…これ…



は…この青臭い
臭い…

精液みたいなの
臭い…



えっ？



ほらほらあ♡
女の体に
ちんちん
生えてるなんて

は…？

ちよう
エロいと
思わない？w

あはっ♡
うまうまいった♡

アタシ
ちんちん
生えちゃった♡

今のアタシ
完全に
「男の娘」だ♡









でもさあ
アタシ
男に媚びるだけの
生活ってもう
飽きたんだよね



だからさあ
前から
欲しかったんだよね♡
ち♡こ♡

アタシみたいな美人に
汚いち♡こが
付いてるなんて
超いびつで
そそらない？w



どう...？
アタシの体...
気持ちいい
でしょ...？

ふふ...

あっ♡

「パパ」に何度も
開発されて
全身性感帯に
なってるからね♡

ぐり♡



ほら...
よく見なさいよ...

ステキでしょ...？

あ...っ
うっ





全身に
力が入らない…

なのに腰が…
勝手に
動いちゃう…



ごりごり
されて…
頭が…
変になる…っ



あれ…？
もしかして今
軽く中イキした？

いった瞬間
アンタの顔
アタシになった♡

イクと
性ホルモンが
活性化するって
ゆうからねえ♡

まだ開発途中だった
「パパ」も言ってたし
過剰分泌された
ホルモンのせいで
副作用がでちゃったんだ♡

一方的な欲望で
征服される…

こんなに
暴力的なのに…
何故か
満たされてしまう…



もうと…
もっとして
欲しい…♡



あっ
何かち○こが
痙攣してる♡

ペ
パ
ン

もしかして
イクの？
これw



ふうう…
中出して
こんなに
気持ちいいんだねw

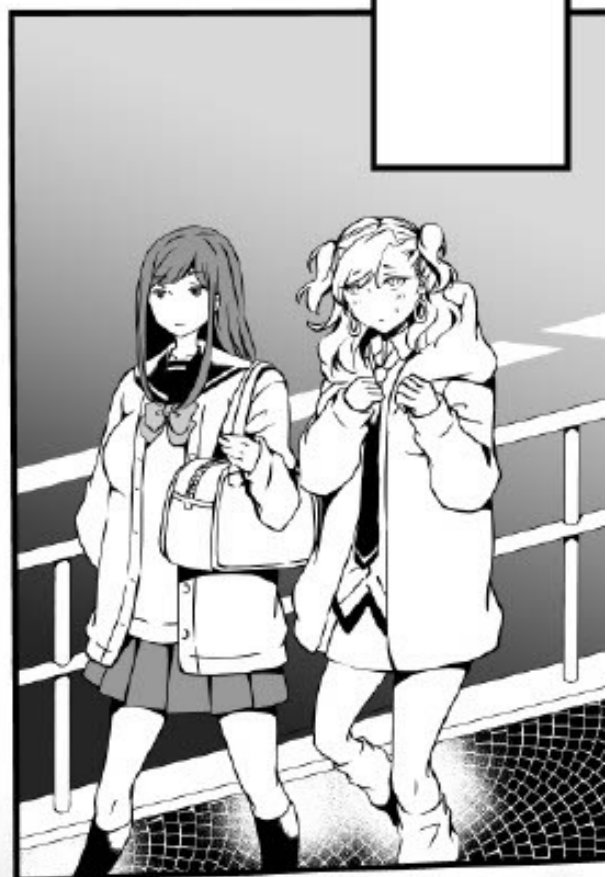


気持ち良かったよw
アンタのち○こ♡



俺...

女の子に
なったんだ...♡







俺は何度も何度も
オナ○ーした…

明日からの
バラ色の
女の子ライフを
想像しながら



どどどどっ
どうしよう！
親に見つかる…

女の子の部屋に
見知らぬ男子がいるという
この窮地をどうにか
脱しなければならぬ



翌日何故か…
元の姿に
戻っていた…

はあっ？
何で！？



クローゼットの中の下着や
露出の多い派手な洋服を着た
自分を想像すると物凄く興奮した…

だが現実には甘くはなかった…



もしもしっ？
藤咲？
おっ俺
体が元に…

えっ？
藤咲も！？

俺たちは
急いで制服を交換し
なんとか
始業には間に合ったが…

アンタ
いつまで
そんな顔
してんのよっ

それと
元に戻ったんだから
アンタとアタシは
これっきりっ

陰キャのアンタと
アタシの接点は
何もないんだから
もう話しかけて
くんないよっ！

おっ
おう…

2-D

ああ…
楽しかったなあ…

昨日の事は
夢だったのかなあ…

夏帆
おっす

エリナ
w

はよう

あははっw
マジかよw
w

できー

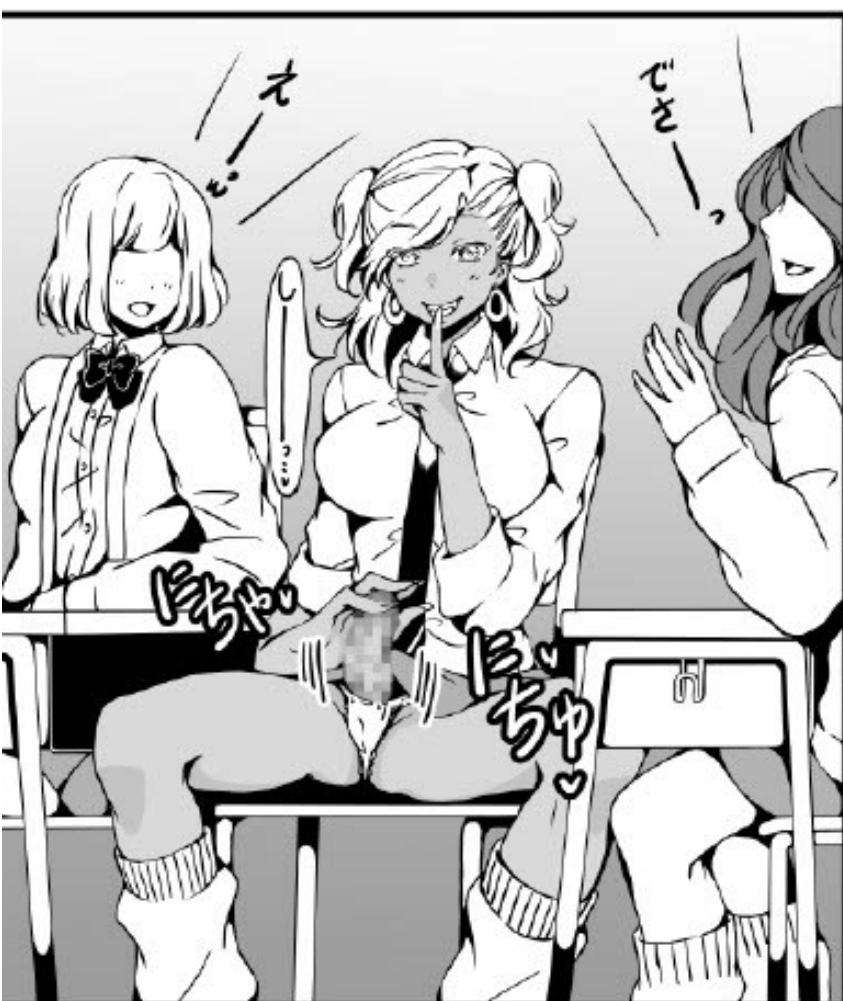
藤咲だって
昨日はあんなに
喜んでたくせに

これで本当に
いいのかよ…

くそっ
楽しそうだな…

本当は俺が
あっち側に
いたはずなのに…







な…っ

はあ!?

何でっ!?

磯島のくせに
突然叫ぶんじゃ
ねえよww

ぶっw
なんだ
コイツww



これは…
その…



あ…っ
えっと…



アタシも丁度
アンタに用が
あったところだからっ
ちよっと
ツラ貸せっw



アタシに
用があったんじゃ
ねーのかよっw

ったく
アンタさあ



くす…



